

たかおか

市議会 だより



家持くん

利長くん

春の日を浴びて元気に走る子どもたち

写真提供：高岡市美術作家連盟 写真部

No.22 3月定例会号
平成23年(2011年)5月1日発行

3月定例会のあらまし	2P
新たな議会の構成	4P
代表質問	5P
個別質問	7P
総括質問	11P
委員会の動き	12P

編集■議会広報編集委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



がんばろう
日本

ニュージーランド地震並びに東日本大震災により犠牲となられた皆様にお悔やみ
申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興をお祈り申し上げます。
高岡市議会議員一同

平成23年度予算

総額1295億5947万円を可決

議会改革検討委員会を設置

3月定例会は1日に開会し、18日に閉会しました。
市長から平成23年度予算をはじめ43議案が、議員から意見書1議案が提出され、全議案を可決・承認・同意しました。
また、議会改革検討委員会が新たに設置されました。
今定例会では、代表質問に2会派、個別質問に12人、総括質問に4人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決した主な議案等

条例

職員定数条例の一部改正

退職、採用等による職員数の変動に伴い、職員定数を2075人から2050人に改正するもの。

国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額について、4月からの国における恒久措置化に伴い、所要の改正を行うもの。

出産育児一時金 39万円

※産科医療補償制度の対象出産であれば、3万円加算。

農村環境改善センター及び農村集落多目的共同利用施設条例の一部改正

施設の設置目的、利用実態

等に鑑み、農村集落多目的共同利用施設「駒方会館」を廃止するもの。

里山交流センター条例の一部改正

農産加工室の利用実態に合わせて個人利用の使用料を設定し、施設の利用促進を図るもの。

・使用料区分に個人利用を追加

・個人利用の使用料

【農産加工室】

1人1回1時間以内

150円

その他

工事請負契約の締結

伏木小学校体育館及び東五位・中田小学校校舎の耐震補強工事を行うもの。

①(伏木小学校体育館耐震補強



新幹線新駅周辺の完成予想図

工事

契約金額 1億5225万円

②(東五位小学校校舎耐震補強工事)

契約金額 2億2208万円

③(中田小学校校舎耐震補強工事)

契約金額 1億8816万円

人事

名誉市民の称号の贈呈

南 義弘氏

(東京都世田谷区)

監査委員(再任)

高田 照久氏

(城東二丁目)

議員辞職の件

向 栄一朗議員

(旧高岡市から通算5期)

主な議決結果一覧

初日提出議案

平成23年度 当初予算

◇一般会計	賛成多数で可決
◇国民健康保険事業会計	賛成多数で可決
◇下水道事業会計	賛成多数で可決
◇荻布奨学金事業会計	全会一致で可決
◇駐車場事業会計	全会一致で可決
◇工業団地造成事業会計	全会一致で可決
◇農業集落排水事業会計	賛成多数で可決
◇介護保険事業会計	賛成多数で可決
◇後期高齢者医療事業会計	賛成多数で可決
◇高岡市民病院事業会計	全会一致で可決
◇水道事業会計	全会一致で可決
◇工業用水道事業会計	全会一致で可決
◇簡易水道事業会計	全会一致で可決

条例

◇職員定数条例の一部改正	全会一致で可決
◇職員の育児休業等に関する条例の一部改正	全会一致で可決
◇保育所条例の一部改正	全会一致で可決
◇遺児愛育手当条例の廃止	賛成多数で可決
◇ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正	全会一致で可決
◇高齢者住宅整備資金貸付条例の廃止	全会一致で可決
◇国民健康保険条例の一部改正	全会一致で可決
◇一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧手続等に関する条例の一部改正	全会一致で可決
◇農村環境改善センター及び農村集落多目的共同利用施設条例の一部改正	全会一致で可決
◇里山交流センター条例の一部改正	全会一致で可決
◇下水道条例の一部改正	全会一致で可決
◇消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	全会一致で可決

その他

◇指定管理者の指定の期間の変更について(駒方会館)	全会一致で可決
◇工事請負契約の締結(伏木小学校体育館耐震補強工事)	全会一致で可決
◇工事請負契約の締結(東五位小学校校舎耐震補強工事)	全会一致で可決

討論要旨（発言順）

— 平成23年度予算 —

○日本共産党《一般会計、国民健康保険事業・下水道事業・農業集落排水事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業の各会計…反対、その他の会計…賛成》

高岡駅周辺整備事業や新幹線対策事業等の大型事業の大胆な見直しを求める。また、学校耐震化事業の大幅な前倒しの実施や地域経済を支える中小企業の支援、市保有株の売却による財源確保など、市民目線に立った対応を求める。

一方、国民健康保険税、下水道使用料、介護保険料については、財政努力による引き下げを求め、国に対し国庫補助率の引き上げと後期高齢者医療制度の即時廃止を求める。

○自民党議員会

《全会計…賛成》

北陸新幹線開業を見据え、拠点都市としての役割、高岡らしさの明確化とその発信に意が用いられている点や、5つの戦略的施策に、財源を重点配分した点を評価するとともに、未来に向けて次のステージへ力強く飛躍する予算に期待を寄せている。今後は、

総合計画第2次基本計画の策定と高岡新世紀パイロットプログラムによる取り組みを通じて、高岡の中・長期的な課題について、市民等と合意形成を図りながら高岡新世紀を力強く切り拓いてもらいたい。

○民主クラブ

《全会計…賛成》

限られた財源の中、事務事業効果検証によって福祉や教育分野に対しても、聖域化することなく予算編成に努められたことは、高く評価している。新幹線開業を見据えた都市基盤整備のスピードアップ、新産業創造プラットフォームなどによる雇用創出を推し進めてもらいたい。住民ニーズの多様化に対応すべく市長の強いリーダーシップのもと、一層の效果的・効率的な市政運営をお願いしたい。

○自民クラブ

《全会計…賛成》

厳正な施策の選択と限られた財源の重点的・効率的配分に徹し、将来の飛躍、発展の布石となる予算となっていることを評価している。総合計画第2次基本計画を効果的に展開するために、高岡新世紀パイロットプログラムをはじめ、先導的な事業が予算化されており、元気なふるさと高岡の実現に向け、積極的に事業を進めてもらいたい。また、新たな100年へ、発展の起爆剤となる新幹線新駅周辺整備事業などの大型事業を着実に進めてもらいたい。

○公明党《全会計…賛成》

新幹線開業を見据えた都市基盤整備や観光・交流・にぎわい創出、歴史と文化など戦略的施策の財源を効率的・重点的に配分しており、評価している。特に、事務事業の見直しによる経費節減、職員数の適正化、子宮頸がんなどのワクチン接種事業、学校施設耐震化事業の拡充等への取り組みは大きく評価している。

今後も、みんなでつくるまち高岡を目指し、元気高岡の建設に励んでもらいたい。

○社民党議員団

《全会計…賛成》

重点的な都市基盤整備の推進、少子高齢社会への対応などから積極型予算となったことは評価したい。多額の予算を投入した新幹線開業に向けた取り組みは、市民に説明し理解を得るべきである。また、学校や公共施設等の耐震化を前倒しで行い、太陽光発電の活用などエネルギー政策の転換が必要である。さらに、防災計画の根本的な見直しを行い、災害対策の強化・充実に取り組むことを強く要請する。

◇工事請負契約の締結（中田小学校校舎耐震補強工事）…全会一致で可決

◇財産の譲与（土地及び建物）…全会一致で可決

◇富山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について…全会一致で可決

報告

◇専決処分（平成22年度一般会計補正予算）（2件）…全会一致で承認

平成22年度 補正予算

◇一般会計…全会一致で可決
 ◇国民健康保険事業会計…全会一致で可決
 ◇下水道事業会計…全会一致で可決
 ◇駐車場事業会計…全会一致で可決
 ◇老人医療事業会計…全会一致で可決
 ◇介護保険事業会計…全会一致で可決
 ◇後期高齢者医療事業会計…全会一致で可決
 ◇高岡市民病院事業会計…全会一致で可決

最終日追加提出議案

人 事

◇名誉市民の称号の贈呈…全会一致で同意
 ◇監査委員の選任…全会一致で同意

議員提出議案

◇「自立支援医療」に係る低所得世帯（市町村民税非課税世帯）の利用者負担の無料化を求める意見書…全会一致で可決

議員辞職の件

◇議員辞職の許可（向栄一朗議員）…全会一致で可決

請 願

◇「所得税法第56条廃止」の意見書提出についての請願（高岡民主商工会婦人部 部長 源みゆき・全日本年金者組合高岡支部 代表者 小谷一郎・高岡市教職員組合 代表者 松田理恵子・日本共産党奥西地区委員会 委員長 泉野和之・高岡演劇鑑賞会 代表者 武澤正・新日本婦人の会高岡支部 代表者 高宮利枝）…賛成少数で不採択
 ◇「米軍駐留費特別協定」を延長せず、米軍への「思いやり予算」廃止を求める意見書提出についての請願（安保破棄・諸要求貫徹富山県実行委員会 事務局長 黒田英夫）…賛成少数で不採択

新たな議会の構成

3月定例会最終日の18日に、議長の辞職に伴う選挙を行い、新たに高畠義一氏が議長に選ばれました。また、これに伴い、委員会の委員も一部変更となりました。

議長に 高畠義一氏



高畠議長

梅田副議長

新議長、抱負を語る

「ニュージーランド地震並びに東日本大震災で犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様へのお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。また、今回の大震災を受け、市の危機管理の徹底を図り、地震

や津波のほか、洪水に対する備えなど、大災害への対応を見直さなければならぬと考えている。今後は避難所の機能も含めて災害対策について、市当局としっかり議論していきたい。一方、依然厳しい経済情勢ではあるが、本市が将来、きらりと光るまちへと飛躍するための総合計画第2次基本計画の策

変更のあった委員会

港湾対策特別委員会

- ◎荒木 泰行
- ◎石須 大雄
- ◎吉田 健太郎
- ◎酒井 立志
- ◎水口 清志
- ◎南部 周二
- ◎盤若 進正
- ◎大井 樹介
- ◎二上 桂介

議会広報編集委員会

- ◎酒井 立志
- ◎曾田 康司
- ◎吉田 健太郎
- ◎中山 欣一
- ◎永森 茂郎
- ◎金森 一清
- ◎水口 志三
- ◎南部 周進
- ◎島村 信一
- ◎梅田 義一
- ◎高畠 義一

◎委員長 ○副委員長
※委員長・副委員長以外は議席順



家持くん

利長くん

定を推進するとともに、本市の新たな発展の基礎となる新幹線新駅・現高岡駅周辺などの整備、越中・飛騨観光圏による広域観光や新産業の創造への取り組みなど北陸新幹線開業後を見据えたまちづくりや本市の魅力発信を着実に進められるよう努力していきたい。また、中心市街地活性化や子育て支援など市政の重要課題に市当局と連携しながら取り組み、本市のさらなる発展のため尽力していきたい。議会改革については、議会基本条例の制定をはじめ協議する事柄が多岐にわたるが、議会運営のまとめ役として、市民に分かりやすく関心の持てる議会づくりを目指して努力していきたい。」と就任に当たり、高畠議長が抱負を語る。

高畠議長 副議長、建設水道常任委員長、水道病院決算特別委員長、総務文教常任副委員長などを歴任。

議会改革検討委員会の設置が決まる

3月定例会の最終日に、「議会改革検討委員会」の設置及び委員の選任を行いました。委員会の構成につきましては次のとおりです。

◇委員会の構成

- 委員長 畠 起也
- 副委員長 曾田 康司

- 永森 茂
- 金森 一郎
- 上田 武
- 四十九 清治
- 川島 国
- 金平 直巳
- 樋詰 和子
- 磨伊 義広
- 柳清 利勝

※委員長・副委員長以外は議席順

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民党議員会
館 勇将

高岡らしさ

問 平成23年度予算に高橋力ラーをどう盛り込んだのか。

市長 北陸新幹線開業を契機として、高岡の拠点性を高めること、「高岡らしさ」を出すことに特に心掛けた。高岡の地域資源の一つひとつを磨き、つないで、高岡ならではのものにつくり上げ、さらに大きな発展に結び付けたい。このため、都市基盤整備の分野では、高速道路へのアクセス道路網整備を通じて高岡の広域的拠点性を高めるとともに、高岡現駅及び新幹線新駅の一体的整備を進めていきたい。また、まちなかへの人の誘導が重要と考え、新幹線新駅からまちなかに至る2次交通網の構築、中心市街地ストーリー構想の策定に取り組みたい。産業の分野では、新産業創造プラットフォームを通じた取

り組み、福祉や生活の分野では、高岡型福祉ネットワークの構築への取り組みなど、高岡ならではのものづくり、仕組みづくりを進めていきたい。

将来への足がかり

問 高岡新世紀パイロットプログラムの位置付けは。将来的に何を見据えた施策なのか。

市長 総合計画第2次基本計画中間報告で、新たな100年に向け、取り組むべき施策として「高岡新世紀創造プロジェクト」が提案されている。その中、長期的な政策テーマのうち、まちなかのにぎわい創出、地域公共交通体系のあり方などは、特に早期に着手し、市民や地域、団体、企業、行政という多様な活動主体が新しいまちづくりの方向性を共に考え推進することが重要だと考える。平成23年度予算においては、24年度からスタートする第2次基本計画に掲げる施策の先導的な役割を果たす事業を「新世紀パイロットプログラム」として予算の重点施策に位置付けた。

このような取り組みを通じ、本市の抱える中・長期的な課題について、市民や関係者の合意形成を図りながら高岡新世紀を切り拓いていきたい。

雪害対策

問 今後の対応を踏まえた、今冬の除雪対策の総括は。

建設部長 今冬は、平成23年1月末での最深積雪が平年値を大きく超える127センチメートルの大雪となり、一時的に除雪作業が降雪に追い付



記録的豪雪の中での除雪作業

かない状況になったが、辛うじて全路線の交通は確保できた。また、大量の雪の運搬排雪が一斉に行われたことから、市指定の雪捨て場が満杯となり、急きょ、河川敷に新たな雪捨て場を確保した。除雪についての課題は、雪の置き場の確保や地域の実情に合ったきめ細かな除雪体制の確立であると考えている。次期の除雪計画を立てる際は、雪の置き場の確保のために自治会など十分協議すること、きめ細かな除雪体制とするために、業者の自主出動地域の拡大や除雪機械の増車、オペレーターの養成に努める必要がある。また、通学路の歩道については、長い歩道を有する国道・県道の除雪とより密接に連携しながら除雪に努めたい。

消防力の充実強化

問 平成23年度に整備が予定されている高機能消防指令センターの機能と期待される効果は。今後、消防広域化を考える上での位置付けは。

消防長 全ての119番通報に対して位置情報が取得できるシステムや災害発生地点直近の消防車等を自動的に選別して出動させるシステム等を導入する予定である。これに

より、携帯電話等からの通報場所を特定する時間や消防車・救急車の現場到着時間の短縮が期待され、災害に伴う被害の軽減や救命率の向上につながる。また、聴覚障害者等からの電子メールによる災害通報を受信する装置の導入など、市民の安心・安全に直接役立つ機能の充実を図っている。同施設の規格は市町村の人口規模等により3種類に区分されており、本市が導入する規格は、将来広域化されても管轄人口40万人までは運用が可能である。

近隣駅との差別化

問 新幹線新駅には利便性の高い屋内立体駐車場の整備が必須と考えるが、見解は。

都市整備部長 新駅周辺における駐車場は、利用者にとって便利なものであるべきとの認識に立ち、現在、駐車場の位置、規模、管理運営面等を勘案しながら整備方針について検討している。立体駐車場の利点として、悪天候でも利用しやすいことや駅に近接させることにより設置場所によってはより多くの利用者が移動距離を短縮することができることなどが挙げられるが、一方、平面駐車場と比べ立体

駐車場は整備額が多額となることから、新駅周辺で立体駐車場を整備した場合は、有料になるとの認識である。料金面での課題はあるが、その利便性に鑑み、今後、立体駐車場の設置も含め駐車場のあり方について検討していきたい。



自民クラブ

大井 正樹

人口減少社会に向けて

問 人口減少社会への対応について問う。

(1)少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少により、現在の行政サービスを維持することが、コストの押し上げにつながる。今まで以上に施策の選択と集中が必要になるが、その考え方は。

(2)都市間競争を有利に進めるため、高岡の魅力を創出し、人口減少を抑制する取り組みについての考え方は。

市長 (1)生産年齢人口の減少は、地方を取り巻く行財政構造にも大きく影響するものと考えている。このため、引き続き、事務事業の選択と集中による整理・合理化を徹底していくとともに、社会資本の



新設された子育て支援センター（御旅屋セリオ8階）

有効活用に徹し、適正な維持・管理に努めたい。また、人口減少社会に対応するためには、これまで以上に、地域の特性や資源を活かした、まちの品質の向上を目指す施策を展開し、まちの活力を生むことが効果的であると考えている。そのため、新幹線開業を契機に、交流人口を拡大し、まちのにぎわいを創り出すため、高岡の拠点性や存在感を高める施策を展開したい。

(2)本市では住みたいまちを一つのテーマに施策を展開しており、これをさらに推進することが重要と考えている。そのためには、住まいや働く場の確保が必要であることから、住宅取得の支援、土地区画整

理事業等による住宅地の供給を行うとともに、雇用確保のための産業創出、企業誘致に取り組んでいる。さらには、拠点性を活かしたサービス産業や観光産業の充実にも取り組みたい。また、地域が一体となった、住みよい、子育てしやすい環境づくりを進めたい。加えて、交流人口の拡大も重要であることから、まちの魅力を磨き、その情報を発信することで、多くの人が集うまちになるよう努めたい。

新幹線開業に向けて

問 新幹線開業を見据えたまちづくりについて問う。

(1)並行在来線の運営について、新駅の設定検討も含めた市の推進方針と考え方は。

(2)新幹線新駅周辺に、ニーズに合った駐車場を整備すること、飛越能86万人の人々により多く、利用してもらえ、駅になると考えるが、駐車場整備についての考え方は。

都市整備部長 (1)並行在来線の運営は、地域の実情に合わせた列車運行や安定的な経営が可能となるような収益構造の確保など、地域に根ざしたコンパクトで持続可能な鉄道会社を目指すことが重要である。本市としては、その点が

十分考慮されている富山県並行在来線対策協議会幹事会で示された経営の基本方針に沿って議論を深めたいと考えている。また、新駅の設定検討については、県において、平成23年度に新駅設置の可能性調査を実施するとともに、富山県並行在来線対策協議会において、24年度までの2カ年にわたり経営計画概要を策定する中で収支予測を精査することとしている。本市では、こうした調査結果を参考としながら、新駅設置の可能性を検討していきたい。

(2)駐車場の整備方針については、19年4月に策定した「北陸新幹線新高岡駅（仮称）周辺まちづくり計画」において、金沢開業時に約800台、大阪開業時に約1500台の駐車場を官民連携して確保するものと定めている。現在は、金沢開業における約800台の駐車場を確保することを念頭に、駐車場の位置、規模、構造、料金等について、市の現状と他都市の事例等を勘案しながら比較検討している。予定地が区画整理事業地内であることから、民間事業者の有無や立体駐車場の設置も含めた駐車場のあり方については、23年秋ごろを目標としている仮換地指定の作業と併せ

て検討していきたい。

新幹線開業効果を活かして

問 平成26年度の新幹線開業の効果を、本市の発展にどのように結び付けていくのか。

市長 本市は新幹線開業により、新幹線、北陸自動車道からなる東西軸、東海北陸自動車道、能越自動車道からなる南北軸が交差する日本海側有数の高速交通拠点となる。三大都市圏とほぼ等距離で結ばれ、伏木富山港を要し、環日本海地域に開けた地勢的な優位性を活かし、人・物・情報の交流拠点としての機能を飛躍的に向上させていかなければならない。本市の発展を将来に向けてつなげていくためには、本市の強みである交通拠点性や歴史・文化といった資産を一層磨き、発信していくとともに、観光・産業面で広域的な連携を進めるなど、人を呼び込む施策、交流を広げる施策、にぎわいを生む施策を一体のものとして捉え、全力で取り組むみたい。今後とも、議会や市民と一丸となつて、新たなまちの魅力や価値を創りあげていく取り組みを積極的に進め、未来に向けた次のステージに力強く飛躍していきたい。

個別質問

今定例会では、12人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



中山 欣一
民主クラブ

予算編成への理解

問 新幹線開業までの間は、市民にとっても厳しい予算編成が予想されるが、どのようにして理解を求めていくのか。

市長 平成23年度予算編成は、施策・事業の見直しについて議会や市民の意見を幅広く聞きながら進めてきた。今後とも「予算の見える化」や議会等での議論を通じ、市民に適切に情報提供しながら幅広く検討を行い、行財政改革を進めなければならない。

厳しい事業運営

問 国民健康保険事業について、今後、さらなる保険税率の引き上げも予測されるが、平成23年度以降の見通しは。

福祉保健部長 これまで、保険税の収納確保など自助努力はしているが、23年度以降も、高齢化に伴う医療費の増加、加入者の増加、経済情勢や雇

地域の課題解決

用環境の低迷に伴う課税所得の落ち込みなどが予測され、引き続き厳しい事業運営を強いられるものと見込んでいる。

問 集落運営や地域経営を専門的に行う「地域マネージャー」の育成について本市も検討すべきと考えるが、見解は。

生活環境部長 地域の抱える課題によっては、自治会組織等に専門的なサポートが必要な場合も想定される。地域の課題解決に向けた取り組みを地域住民とともに推進する人材の育成や確保について、類似的の先進事例等も参考にしながら調査検討していきたい。



吉田健太郎
公明党

共助によるまちづくり

問 共助、「支えあう社会」について問う。

(1)市民活動支援・協働推進事業の平成23年度の方針は。

(2)ボランティア活動ポイント

制の導入を検討すべきと考えるが、見解は。

市長 (1)新たに市民活動の活性化と協働の推進体制を強化するため、市民協働プラットフォームを構築したいと考えている。この仕組みの柱として、新たに協働に関する総合相談窓口の設置等を行い、市民が市民活動に参加しやすい環境づくりに努めたい。

福祉保健部長 (2)ボランティア活動ポイント制は、社会福祉協議会で取り組みを始めたところである。その実施については、対象とする活動をどのようなものにするか等の課題もあることから、今後、先行地域の状況等も参考に、研究していきたい。

公助によるまちづくり

問 本市における買物難民に対する調査の進捗状況は。

産業振興部長 本市では、平成23年1月に買物弱者応援策検討会議を組織し、まず、市内の買物弱者といわれる対象者の範囲とその実態を把握するとともに、市内で実施されている買物弱者等への支援状

況の調査を行った。今後は、現在実施されているNPO法人等による買物代行や宅配サービス等の各種応援策の周知に努めるとともに、本市の実情に合った新たな支援策について調査・研究を重ねたい。



向 栄一郎
自民党議員会

環日本海地域からの誘客を

問 客船寄港の際の乗船客向けに、瑞龍寺、五箇山を結ぶ観光コースの設定が必要だが、将来ビジョンの作成を。

産業振興部長 客船の観光客を意識し、売り込むことは重要である。このため、越中・飛騨観光圏での、観光資源・



豪華客船の乗船客に高岡の魅力を発信

観光テーマ・ルートの掘り起こしを図り、それらを誘客に結び付けるための市場調査、観光客の居住地区別のPR戦略の構築を図る予定である。

施設の機能充実に

問 伏木地区コミュニティ施設に、みなとまち文化館・旅客ターミナル機能の導入を。

建設部長 みなとまち文化館機能は、コミュニティ施設機能との整合を図りながら、整備を図ることが必要である。旅客ターミナル機能は、おもてなしの観点から、休憩スペース、観光情報の提供の機能を検討している。今後、具体的な整備に向けた施設基本計画の策定が進められる中で、地元の意見を聞き、さらに詳細な検討を進めていきたい。

拠点港指定に向けて

問 県が取り組む日本海側拠点港指定に向けて、どのような方針で取り組むのか。

市長 伏木富山港が環日本海側のゲートウェイとして整備され、拠点港となるよう国に強く要望している。今後とも、県等と連携し国への働き掛けを行い、市民の啓発や企業立地の促進、ポートセールスに努めるなど、拠点港の指定を目指し積極的に取り組みたい。



永森 茂
自民党議員会

今冬の雪問題を踏まえて

問 雪の問題について問う。
(1)除排雪が困難な世帯のため
に学生ボランティアを中心に
雪かき十字軍の結成を検討す
べきと考えるが、見解は。

(2)雪の有効利用という観点で
雪氷熱エネルギーの利用を検
討すべきと考えるが、見解は。

福祉保健部長 (1)ボランティ
アセンターでは、今冬の大雪
を踏まえ、平成23年度から一
人暮らしの高齢者世帯などを
対象とした除雪ボランティア
の登録を募集する。当面は登
録者確保に努めるが、雪かき
十字軍の結成は、登録状況を
見極めた上で検討したい。

産業振興部長 (2)雪氷熱エネ
ルギーの利用は二酸化炭素を
排出しないエネルギーとして、
地球温暖化対策にもつながる。
全国の活用状況を調査し、
国・県等のエネルギー政策の
動向を踏まえ、導入の可能性
について研究していきたい。

高岡の魅力発信へ

問 北陸新幹線開業に合わせ、
高岡の歴史的見所を内外にア

ピールできる映画製作に向け、
誘致に取り組んでは。

産業振興部長 高岡フィルム
コミッションでは、映画等の
ロケーションの誘致に取り組
んでおり、本市で撮影された
映像は100件を超えている。
映画等の映像を通じて本市の
知名度が向上し、本市の魅力
が全国に発信されるよう、今
後とも高岡フィルムコミッシ
ョンや関係機関と連携しなが
ら、映画会社やテレビ局等へ、
積極的な誘致活動を進めたい。



川島 国
自民党議員会

協働から共創へ

問 「共創」を基本姿勢とし
たまちづくりについて問う。

(1)新幹線新駅の周辺に高岡の
歴史文化や元気を象徴するモ
ニュメントを設置するために、
市民からの寄付金等を原資に
その製作を検討してはどうか。
(2)上市町のケアネット活動を
参考に、一人暮らし高齢者等
の在宅生活を地域で支え、き
め細かい支援ができる体制づ
くりをしていくべきでは。

(3)公益法人格取得の要件に公
益目的事業比率50%以上があ
るが、同事業の基準が未だに

不明確である。認可主体であ
る県との連絡調整、連携は。

市長 (1)高岡を発信するモニ
ュメントを市民の力で設置す
ることは極めて意義深いこと
であり、ぜひ実現したい。ど
のようなものがふさわしいの
か、また、市民の参加・支援
の手法については、幅広く意
見を聞き、理解を得ながら検
討していきたい。

福祉保健部長 (2)本市では、
平成19年度からケアネット活
動に取り組んできている。こ
の活動は、今後ますます重要
になるものと考えており、地
域包括支援センターでの高齡
者の相談等を通じたニーズ把
握に努め、よりきめ細やかな
支援を行っていきたい。

経営企画部長 (3)公益法人の
認定は、個別に主務官庁であ
る県の指導を受けながら、県
が設置する合議制機関の審査
を経て判断される。本市とし
ても公益目的事業に定義され
る個々の事業の解釈等を含め、
県からの情報収集に努めたい。



曽田 康司
自民クラブ

消防活動の迅速・効率化

問 本市が目指す高機能消防



高機能消防指令センターの導入へ（現在の通信司令室）

指令センターとはどのような
ものか。

消防長 今回計画している指
令センターは、消防の中枢機
能を果たすことから、高度情
報化社会への対応、大規模災
害への対応力向上、市民に対
するサービスの拡充、さらに
消防活動の迅速・効率化の実
現など災害に強い高岡市を目
指すものである。

情報システムの災害対策

問 災害時における業務継続
対策について、早急な安全対
策を進める必要があると考え
るが、見解は。

経営企画部長 災害発生時に
おいて、市の業務継続計画で
は、窓口業務を最優先に確保
することになっている。窓口業

務の安定運用には、情報シス
テム等を安全に運用していく
必要がある。今後、電力供給
の安全対策の充実や回線の二
重化など、緊急度・優先度の
高いものから順次安全対策を
進めていきたい。

克雪対策

問 除雪費用に対しての支援
を国に求めていくべきでは。

市長 除雪に要する費用とし
ては、国の支援措置である特
別交付税や、社会資本整備総
合交付金について、適切な算
入、追加交付を行うよう、国
に対して強く要望したところ
である。今後も引き続き、大
雪の際の除雪経費に対する国
の支援措置の拡充について要
望していきたい。



上田 武
社民党議員団

若者が住みたいまちに

問 人口問題について問う。
(1)人口減少に対する所見と対
策は。

(2)若者が安心して働き、結婚
し、子どもを産める環境の確
立と充実が喫緊の課題では。
市長 (1)人口減少による人口
構造の変化は、地域経済の活



酒井 立志
自民党議員会

広域観光への取り組み

力や市民生活、市政での行財政運営にも影響を及ぼすと考えている。このため、本市では、住みたいまちをテーマとして、施策を展開し、推進している。住みたいまちの実現のためには、住宅取得の支援、産業創出、企業誘致、拠点性を活かしたサービス産業や観光産業の充実に取り組む。また、子どもから高齢者まで、安全で安心して健やかな生活を送ることのできるまちづくりに努めたい。

経営企画部長

(2)若者が高岡で就職できるよう、企業とのマッチングを図るとともに、地域企業の新分野進出や新事業展開への支援、成長分野企業の立地促進、さらには新産業創出を通して雇用機会の確保・拡大に努めたい。また、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、子育て支援策を充実させ、社会全体で子ども・子育て世帯をサポートする体制づくりを推進したい。

医療費無料化の拡大

問 通院の医療費無料化を小学6年生まで拡大しては。

福祉保健部長 拡大については、保育サービスの充実などに加え、国・県の支援策の推移など、子育て支援全体の中で総合的に判断していきたい。

は、保育サービスの充実などに加え、国・県の支援策の推移など、子育て支援全体の中で総合的に判断していきたい。

越中・飛騨観光圏の統一

問 越中・飛騨観光圏の統一されたブランドイメージの確立と観光PR戦略の構築への取り組みについて、具体的な内容とスケジュールは。

産業振興部長

平成23年度の越中飛騨観光戦略調査検討事業では、観光資源の掘り起こしや越中飛騨の観光ブランディング、エリア別誘客戦略の構築といった調査とプランの作成を実施する。今後は、調査、研究を担う事業者の選定を進め、基本調査、観光資源の掘り起こし、戦略等の立案を行った上で、年内に報告書を取りまとめ、実際の取り組みに活かしていきたい。

歴史的資産を活かすために

問 歴史都市高岡の実現に向けての決意は。

市長 高岡の貴重な歴史・文化遺産とその周辺環境を一体として磨き、多くの人に認められ、きらりと光る存在感を持つて世界に発信する歴史都市高岡の確立を目指していきたい。

拠点港を目指して

問 伏木富山港が日本海側拠点港に選定された場合に本市にもたらす経済的影響は。

建設部長

国の予算措置や税制上の優遇等の支援が行われると聞いている。また、伏木富山港機能向上委員会が策定された市場開拓や集荷力向上等の基本戦略が実施されることで、人・物の交流が盛んとなり、本市にも大きな経済効果があると期待している。



水口 清志
自民クラブ

鳥獣被害対策

問 クマやイノシシ等による農作物被害が多く発生した。この教訓を踏まえ、平成23年度に予定している防止策は。

産業振興部長

23年度には、クマ・イノシシ対策を強化するため、捕獲檻の導入、有害鳥獣捕獲隊に対する捕獲報奨金を設けることとしている。また、農作物被害に対処するため、22年5月に「高岡市鳥獣被害防止対策協議会」を設立した。この協議会の事業として、中山間地域の農地における電気柵の設置を支援する

ほか、猟友会等との連携を密にして、鳥獣被害防止等に適切に対応していきたい。

学校適正規模・適正配置

問 学校適正規模・適正配置検討委員会、地区協議会を設置して進めていく目的は。

教育長

現在、地域ごとに地区協議会の設置を進めており、今後、協議会で子どもの教育環境づくりについて議論し、地域の意見を取りまとめた

安全安心な医療の提供

問 看護専門学校の評価と今後のあり方についての考えは。

病院事務局長

昭和45年の開設以来、平成21年度末までに1700人を超える卒業生を輩出し、多くが医療機関で活躍している。しかし、建築後40年を超え、校舎の老朽化が進んでおり、23年度には、ハード・ソフト両面から看護専門学校のあり方について、様々な観点から検討したい。



金平 直巳
日本共産党

人口推移を踏まえた計画を

問 人口減少社会を前提とした都市計画についての考えは。



子どものより良い教育環境づくりを検討

観光振興ビジョン

市長 施設機能の整理などを通じて、社会資本の有効活用を徹し、適正な維持・管理に努めることが必要である。その上で地域の特性や資源を活かし、まちの質的向上を図り、地域の公共交通を活用しながら、コンパクトで充実した都市構造を構築していきたい。

問 本市の知名度向上への取り組みと今後の戦略は。

市長 これまで様々な機会を捉えて本市のPRに取り組んできた。平成22年度から越中・飛騨観光圏にて連泊キャンペーンの展開など、広域的な知名度の向上と誘客に取り組んでいる。23年度は、観光素材集を三大都市圏への売り

込み等で効果的活用を図るなど、高岡の魅力をアピールしていきたい。さらに、草の根的な市民運動の展開と「おもてなし」に関する市民意識の向上にも取り組みたい。

耐震化の促進を

問 学校施設耐震化の取り組みについて抜本的強化を。

教育長 安全・安心な学校づくりの観点から、耐震化に取り組む、大規模地震で倒壊の危険性が高い^{*}Is値0.3未満の学校施設の耐震化は完了している。今後、Is値0.3以上の学校施設は、平成28年度までに耐震化率100パーセントを目指し、工事の前倒しも含め耐震化を進めたい。



進 島村
社民党議員団

交流の基盤づくり

問 新幹線新駅・現駅間のアクセス方法をどのように考えているのか。

都市整備部長 新駅・現駅間の公共交通アクセスについては、JR城端駅、路線バス、タクシー等により利便性を確保することとし、現在、新駅周辺の整備に取り組んでいる。

今後、関係機関との協議を進め、城端線新駅などの基盤整備に努めるとともに、新駅・現駅間のアクセスが利便性の高いものとなるよう努めたい。

本丸会館の今後の活用

問 本丸会館に関する検討について問う。

(1)本丸会館本館は、近世の歴史的建造物であり、保存活用する方策や可能性について、どのように検討したのか。

(2)急患医療センターの設置場所を総合的に検討すべきでは。
総務部長 (1)本丸会館跡地利用検討会では、本館を急患医療センターとして再活用すること等を検討したが、新築以上の工事費が掛かること等から、本館の文化的価値等は

認められるものの、再活用することは困難であるという報告になったものと考えている。

市長 (2)高岡市、射水市、氷見市、小矢部市の4市の医師会長、公的病院長等で構成する高岡地区救急医療対策協議会からの、市民に周知されている現在地での改築が望ましい等の提案も踏まえ、本市としては、適切な救急医療が提供できるように、総合的に検討していきたいと考えている。



紘 青木
自民クラブ

行財政改革の取り組み

問 上下水道事業の統合に向

けた今後の予定は。また、統合によるメリットは。

都市整備部長 平成22年度から制度的な検討などを行ってきた。23年度は統合後の体制について検討し、整理した上で統合計画を作成したい。統合によって、人件費や事務経費の削減が期待できる。また、市民には窓口の一元化で、迅速で利便性の高いサービスの提供が可能になる。

森づくりと振興施策

問 今冬の大雪による森林被害は大きく、林道や急傾斜地などの崩壊や倒木等の被害状況は。また今後の対応は。

産業振興部長 現在、積雪が多く、被害は把握できていない状況にある。今後、雪解け

後に調査し、被害が確認できれば、人工林は県単森林整備事業等による森林の整備・保全に努めたい。林道や急傾斜地の崩壊等の被害は、大規模なものは災害事業の採択を受けるなど適切に対応したい。

今後の企業誘致対策は

問 本市の工業団地における地域特性など優位性をPRして積極的に誘致活動を行うべきだが、見解は。

市長 これまでも豊富な地下水など工業団地の強みを前面に押し出し、企業誘致に努めてきた。引き続き、立地促進のため、企業誘致推進本部の充実などのほか、今後も自身が先頭に立ち、誘致活動に積極的に取り組みたい。

12月定例会後～3月定例会前

12月24日	議会広報編集委員会
1月12日	議会広報編集委員会
2月 3日	代表者会議
14日	議員説明会
15日	議会運営委員会
16日	民生病院常任委員会
18日	建設水道常任委員会
21日	総務文教常任委員会
	議会運営委員会
	新幹線・公共交通対策特別委員会
22日	経済消防常任委員会
24日	正副常任委員長会議

3月定例会

3月 1日	議員協議会
	本会議（提案理由説明）
	議案説明会
2日	議案説明会
3日	本会議（追加提案理由説明）
	議案説明会
4日	本会議（代表質問）
7日	代表者会議
8日	議会運営委員会
	本会議（個別質問）
9日	本会議（個別質問）
11日	総括質問
14日	代表者会議
	民生病院常任委員会
	経済消防常任委員会
16日	議会運営委員会
	建設水道常任委員会
	総務文教常任委員会
18日	委員長会議
	議会運営委員会
	議員協議会
	議会改革検討委員会
	本会議（議案など採決）



高岡の強みを活かして積極的な企業誘致を

^{*}Is値：耐震性を判定する指標。震度6強程度の地震の振動及び衝撃に対して、Is値0.3未満の場合は「倒壊し又は崩壊する危険性が高い」、Is値0.3以上0.6未満の場合は「倒壊し又は崩壊する危険性がある」、Is値0.6以上の場合は「倒壊し又は崩壊する危険性が低い」とされている。

総括質問

総括質問は、1人25分の持ち時間で、一問一答方式で行われ、今定例会では、4人の議員が質問に立ちました。



樋詰 和子
公明党

男女平等推進プランの推進

問 平成22年12月に国の男女共同参画基本計画が改定され、県も5年ごとに計画を見直すとしているが、本市の予定とスケジュールは。

経営企画部長 23年度において、男女平等推進プランのこれまでの進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえ、重点的な施策を明らかにするため、後期事業計画を策定する。策定に当たっては、男女平等推進市民委員会で審議し、また市民・団体等から広く意見を聞きながら策定していきたい。

高岡の見える化を

問 「川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム」が平成23年9月にオープンするが、高岡市とのタイアップは検討されているのか。

市長 藤子氏の出生地である高岡市としても何かの形で関

わっていきたいと考えている。川崎市に、ミュージアムの開館を機に交流したいと提案したところ、好意的な返事があり、今後、具体的に協議をしていきたい。



南部 周三
日本共産党

TPP問題

問 アメリカは、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加を通じ、医療サービス市場の開放を要求している。日本医師会は、外資系の病院参入が高額な自由診療を拡大し、公的医療の崩壊に追い込むと懸念しているが、地域医療の核を担う市民病院の見解は。

市民病院院長 現時点では、地域医療にどのような影響があるかは把握できない。本院としては、国での十分な議論を期待している。

問 農商工連携の観点からTPP問題でフォーラム開催のため積極的役割を果たすべきと考えるが、見解は。

市長 TPPへの参加は、農林水産業だけでなく輸出産業をはじめ様々な産業への影響や、雇用など国民生活への影響が考えられることから、国では、国民の暮らしとの関係について理解を深めることを目的としたフォーラムを開催しているところである。市は、国においてこのような取り組みをしっかりと実施され、広く国民の声を聞き、十分議論されることを期待している。



石須 大雄
社民党議員団

高橋市政の将来ビジョン

問 市長に就任される前は、高岡市といえば何を連想したか。

市長 高岡といえば、庄川から眺めた立山連峰、二上山の姿、大伴家持も眺めていた万葉のころから変わらぬ、歌心をそそる美しい自然を第一に連想した。また、生活の中にしっとりとなじむ音色を奏でてくれた鑄物の風鈴、呉西の

中心として人の集まる場所、高岡駅や駅の地下街など懐かしい眺めを思い出し、ふるさと「高岡」を連想していた。

問 市長が思い描く本市の理想の将来像は。

市長 本市が地勢を最大限に活かし、環日本海の人・物・情報の交流拠点となり、市民の中に育まれてきた進取の気概をもって、常に新しいもの、新しいものを生み出し続ける活力あるまち、環日本海で存在感のあるきらりと光るまちを目指したい。また、地域で支え合い、子どもからお年寄りまでが生き生きと暮らしている安全で安心なまちであってほしい。



金森 一郎
政 峰 会

環境に配慮したまちづくり

問 平成23年度予算における環境対策事業の目玉は。

市長 福岡地区で循環型社会・地球環境にやさしい市民生活の実現等に向け、地域資源を活用したエコ環境づくりの第1段階として、エコツーリズム等のモデル実験を実施したい。また、新たにグリーンカーテンを導入する事業者

への支援や庁用電気自動車の増車を行い、その効果を分かりやすく示すことで市民・事業者への普及に向けた啓発に努め、低炭素社会・循環型社会の実現を目指したい。

問 小型家電類の回収について、資源化を推進するためにもっとPRをすべきでは。

生活環境部長 事業開始時期に「市民と市政」やホームページなどで周知を図るとともに、平成23年3月に市内全世帯に配布した「家庭系ごみの種類と出し方」に回収のお知らせを掲載した。小型家電類の回収については、資源リサイクルの有効な施策の一つであることから、今後とも市民への啓発に努めていきたい。



グリーンカーテンでエコ環境づくり（博労小学校）

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、新年度予算など付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆減債基金運用利子積立金が計上されているが、減債基金の額は、今後の減債基金の活用方針は。

◆東日本大震災に対して関係部局が一体となって情報収集等を行うべきと考えるが、見解は。

◆公民館の雨漏り等に対する修繕工事に関する考え方は。

◆長慶寺室内プールの存続の問題で、平成21年度は6万5000人が利用しており、廃止するわけにはいかないと考

えるが、見解は。

○民生病院常任委員会

◆伏木地区コミュニティ施設への併合を検討しているみなとまち文化館機能、図書館機能の基本的な考え方は。地元要望は市に伝えており、事業着手に向けて、もっと努力すべきでは。

◆校下地区敬老会補助金支給事業について、平成23年度から助成額の算出方法が見直されるが、その詳細は。

◆本市における保育園の耐震化の進捗状況と今後の予定は。

◆国民健康保険税の現時点での収納率と資格証明書の交付件数は。また、口座振替の現在の利用率は。

○経済消防常任委員会

◆農地・水・環境保全向上対

6月定例会の予定

6 月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、6月9日(木)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 17日(金) 10時 議員協議会
13時 本会議
(市長の提案理由説明)
- 21日(月) 9時 議会運営委員会
10時 本会議 (個別質問)
- 22日(火) 10時 本会議 (個別質問)
- 23日(水) 13時 民生病院常任委員会
13時 経済消防常任委員会
- 24日(木) 10時 議会運営委員会
13時 建設水道常任委員会
13時 総務文教常任委員会
- 28日(月) 9時30分 委員長会議
10時 議会運営委員会
11時 議員協議会
13時 本会議
(議案・意見書など議決)

❁ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
22年 6月	13人	1人
22年 9月	74人	0人
22年12月	20人	1人
23年 3月	29人	1人



豪華絢爛に人々を魅了 高岡御車山祭

策事業に取り組む中、この事業が廃止されるという声も聞くが、平成23年度の方角性は。

◆たかおか未来WEB商店街開設事業では、高岡らしい商品の出店も考えられるが、商店誘致の考え方は。

◆将来、観光バス等の受け入れも考えると御車山会館の敷地内に駐車場を確保すべきと考えるが、見解は。

◆県内各地で食のブランド化が進められているが、高岡の食ブランドのイメージに関する考えは。

○建設水道常任委員会

◆橋りょう長寿命化修繕計画策定事業を、平成23年度も引き続き行うのか。

◆今冬の豪雪における除雪での問題点を今後活かすことが重要だが、今後の対応策は。

◆機械除雪等の状況を踏まえ、消雪設備の整備、オペレーターの育成など、地域ごとの状況、財政面など総合的に勘案して、計画を考えるべきでは。

◆近隣市を参考にした消雪組合に対する助成の拡大など、

雪災害の観点で、市が主導して消雪施設整備促進の環境づくりをしてもらいたい。

編集後記

未曾有の大災害となった、3月11日の東日本大震災。議会でもその時間は、総括質問がちやうど終わった時間で議場にいた議員全員が目まいに襲われた感覚でした。時間がたつにつれ明らかになる事実そして現実。被災地にて復興支援に当たっておられる自衛隊・警察・消防やボランティアの方に敬意を表し、義援金などの支援をしながらも、私たち被災をしなかった地域の日本人として至極当たり前に普段通りの生活をするのが求められています。我々高岡市議会としても市民の皆さんが、安全で安心して生活できるように、また、一日でも早い日本の復興の一助となるよう市当局をはじめ一致団結して全力で取り組んで参ります。

(金森記)

★編集委員

◎酒井、◎曾田、吉田、中山、永森、金森、水口、南部、島村、梅田、高畠

(◎委員長 ○副委員長)